

令和3年度高体連中北部支部合同バスケットボール新人大会 (R3.10.22)

今大会の準備・実施・事後処理に至るまで、参加するすべての方々の安心・安全を確保しつつ、かつ本大会を終了させるためには、特に出場チームの生徒・スタッフの皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。つきましては、以下の「申し合わせ事項」と、高体連より示されている「大会実施ガイドライン」を熟読の上、厳守いただきますようお願い致します。

申し合わせ事項

1. 大会前・試合前

- ① 専門部で準備できるものには限界があります。チームで必要な感染予防対策用品は各チームで準備をお願いします。(消毒液、泡タイプの石けん、布巾 等)
- ② 会場内に入出入りする人は、大会前と後の2週間や大会当日の自宅や学校を出発する前に必ず検温を実施・記録して下さい。(各学校の管理者が来場する場合にも必要になると事前に声かけをお願いします)
また、会場に入場する際にも、全員の検温を1人ずつ実施しますので、ご協力をお願いします。
- ③ 会場敷地内では、全員必ずマスクを着用して下さい(アップ・試合中は除く)。試合に出場していない選手のベンチでのマスク着用もお願いします。長時間のマスク着用の際は、熱中症予防を心がけ、水分補給をこまめに行うこと。
- ④ 高校会場の敷地内への車両の進入は、各学校へ配布する3枚の駐車許可証をもっている方のみ認めます。(外部からの協力審判員は審判割り当て表を提示することで入場可とします)。
保護者や許可証の無い方が引率して来た場合は、近隣に迷惑とならないように高校会場の敷地外で生徒の乗り降りを行って下さい。※駐車許可証を持っていても、体育館内に入れるわけではありません。
- ⑤ 各チームの引率責任者は、会場到着後、当日大会参加する生徒・チーム関係者全員分の「健康チェックシート(提出用)」をまとめ、体調不良者がいないか確認する。その後、受付で感染症予防対策係に「健康チェックシート(提出用)」を全員分まとめて提出するとともに、参加人数を報告すること。(毎日1枚提出)
- ⑥ ゲーム・更衣・休息を取るためなどに使用した場所(控室・更衣室・ベンチなど)の消毒は、各チームで責任をもって対応して下さい。(消毒に必要な用具等は各チームで準備すること)
- ⑦ ハーフタイムのコートを使ったウォーミングアップは禁止とします。
(試合終了後、試合をしたチームはベンチ等の使用した場所の消毒作業を素早く行い、コートから撤収すること)
(次の試合までの時間は、消毒作業後にチームを完全に入れ替えた後、両チームの選手が全員コートに立ってから10分間とします。その時間を使用してウォーミングアップを行うこと。)
- ⑧ ゲーム終了後、次の試合のチームは、前のチームの消毒作業が終わった後に体育館フロアに入って下さい。
- ⑨ 試合前の声出しや円陣は密集して行わない。
- ⑩ 試合前及び試合終了後の握手は行わない。(キャプテンのみ、相手チームのコーチ等へのあいさつはOK)

2. 3密を避ける取り組み

(1) 大会会場(体育館)に入場できるチームの人数は次のとおりとする。

- ① コーチ1名
- ② アシスタントコーチ1名
- ③ マネージャー1名

④トレーナー1名（各チーム1人まで認めるが、ベンチの後方での待機とする）

⑤選手18名・・・（試合によって入替可）

⑥撮影係の部員2人 ※必要なチームのみ

2階（ギャラリー）でエントリー外の部員2人が映像を撮ることを認めます。ビブスを着用してもらいます。各チームの責任でライブ映像を流すことは可能です。（ただし、チーム関係者のみが見られるようにし、不特定多数の人が見られるような状態で配信することは絶対にしないこと。撮影できる試合は、自チームの試合のみ。）

※学校管理者については、当該校が試合のある時は入場を認めますが、観戦場所は大会本部（役員席）でお願いします。（ただし、2週間前からの健康観察を実施し、当日の「健康チェックシート」の提出を必ず行うこと。）

(2) 高校会場で試合がある場合、(1) ①～⑥に記載されているもの以外のチーム関係者の学校敷地内への入場は認めない。ただし、試合中の荷物管理や緊急時の対応が必要になることもあるため、必要なチームについては、荷物係2人・緊急時対応係1人までの学校敷地内への入場を認める。

3. ゲーム中

① 無観客試合での実施のため、保護者・一般の方の会場内への（高校会場は敷地内にも）入場は出来ません。

② フロアに入れるのは、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、登録選手18名、トレーナー1名（いない場合はマネージャーでも可）、TO及び補助員、審判、大会役員、事前に許可を受けたメディア関係者となります。

③会場では、基本的に窓は開けた状態で試合を実施する。太陽光が競技に支障がある時は、窓は開けた状態でカーテンを閉めて対応する。その場合、ハーフタイムと試合終了後に換気を実施し、感染症予防並びに熱中症予防にも配慮する。

④大声を出しての応援や、鳴り物（指笛も含む）での応援は禁止する。（飛沫拡散の防止のため）

⑤ゲームに出場するためにコートに出る際には、必ず手指消毒を毎回行うこと。（各チームで準備する。）

方法：TO席に消毒液を準備する。→タイムアウト明け、QT間明けに手指消毒してコートへ出る。

4. ゲーム後

① 各チームで使用したコートの椅子や机（交代席・TO席等含む）、モップ、得点板等の消毒作業を行います。各チームであらかじめ、誰がどこの消毒をするかの担当を決めて素早く行えるようにしておくこと。

② 試合終了後は、素早く消毒作業をして会場から退出すること。次の試合は、チームの完全入れ替え後に実施します。（TO担当の生徒は消毒作業を他の人に任せ、素早く準備をすること。マスク着用も忘れずに!!）

③ その日の試合が終了したチームは、更衣や休憩場所として使った場所等も消毒し、終了後は速やかに帰宅して下さい。（ただし、TO担当がある場合や、全試合終了後、会場撤去に協力依頼があった場合は例外）

《重要》

※今大会では、各チームの「コーチ」「アシスタントコーチ」の方々に試合が終了した次の試合が行われている時間帯に、『感染防止対策係』として、会場校の入口や体育館入口での業務を担当してもらいます。

※詳細な業務や割り当ては、大会当日に会場入りした際に『感染防止対策係』の責任者から確認をし、その指示に従って対応して下さい。（審判等が重なっている時は調整をしますので、同様に係の責任者の指示に従って対応して下さい。）